

配信 さんさん 食育プロジェクト

**収穫体験
絶品ランチ
心腹満つ**

京都大和の家「交流会」

障害者就労支援事業（新井修旅説長）
所で農福連携センタ―実センター長）＝京田
の「さんさん山城」辺市興戸小モ詰＝は年
暮らす子供たちが野菜・果実の収穫体験やラ

ンチを満喫し、将来に向けた見聞を広める交流会を開いている。

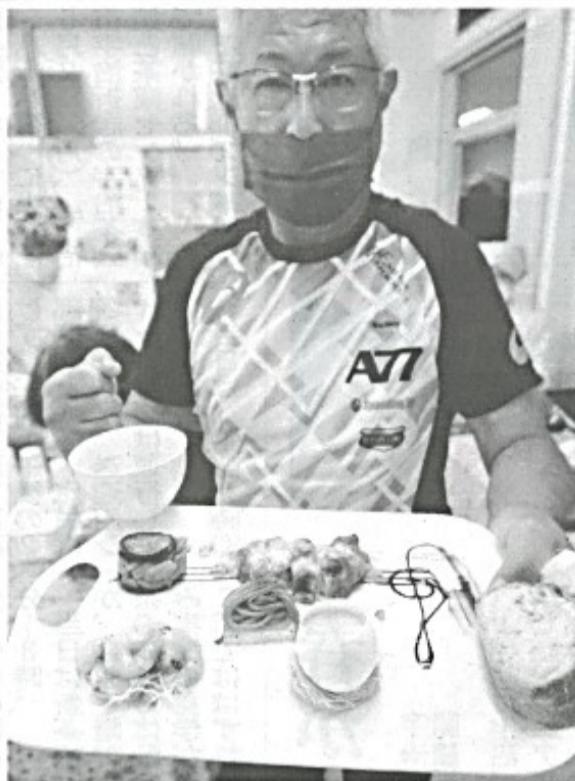
「精華町を活用した
童養護施設「京都大和の家」(岡本直彦施設
長) = 精華町 = との交

一樹から実をもぎ取り、市内にある栽培畑まで足を運んで田辺なすやサツマイモの収穫に歓声を上げた。

自家製野菜の和のコラボランチも子供たちは心行くまで堪能した。さんさんの野菜を材料にしたえびいものボタージュ、田辺なすのコンフィ、抹茶のシフォンケーキ、真鯛といろどり野菜のホイル焼き、えびいもやさいき

が入った豚汁などが彩りを添えたプレートに子供と大人たちの笑顔が弾けた。

福連携を進めるうちの一
つ。さんざん山城な
らではの取り組み。子
供たちの将来の選択肢
につながれば」と狙い
を説く。



さんさん自家製野菜とコラボした特製プレートは垂涎もの



創作フレンチ「貴匠櫻」の賣持シェフ

は、さんさん
が手塩に掛け
た野菜をミニ
ユーに使うフ
レンチ料理
「貴匠桜（き
しょうざく
ら）」=京都
市東山区の
特製フレンチ
が登場した。
京懐石「祇
園にしかわ」
とさんさんの

西川店主は昆布と醤油の
節で取った出汁を子供たちに振る舞い、手間の大切さを強調。舌むらを楽しませてもらった子

のスタッフも「ボットやドローンを使った近未来の物流・配送などを紹介している。新免施設長は「施設

に抱いた夢や経験を伝え、料理人として目指すもの、食とは一なじを分かりやすくひも解いた。

つながりを増す甘利
香辛食品(株)や万松青里
(株)、同市内に物流倉庫
を構えるAmazon

揃えた寶持（ほうぢ
ち） 隆志シェフ（貴臣
桜） や西川正芳店主
(祇園にしかわ) らが
講演した。

大福の手作り体験も、
しんだ児童たち。
さんさんと関わりを
深め、食育プロジェクト
の趣旨に共鳴する事

交流会は回を重ねるごとにゲストも多彩に。さんさんスタッフと厨房と共に献立を取つて

供たちに「困ったうおいで。7年間働いて立派な料理人になれ」と励ました。

卷之三

を説く。



コミュニティカフェで心もお腹も満たした子供と大人たち